瀧本議員（民主県政会）

平成 26 年 12 月 10 日
知 事 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）県立学校の耐震化の進捗等について

今年６月の調査では，本県の公立学校の耐震化率は，小中学校では７６．８％と４年連続で全国最下位となったものの，高等学校では全国平均近くの８８．２％まで伸びている。

特に県立学校については，平成２３年６月，当初計画からの大幅な前倒しにより，来年度末までに耐震化を終えることを知事自ら決断されたところであり，先ほどの調査結果を見ても，私がこの問題に取り組み始めた頃に比べ，改善されてきたと感じている。

ただ，２月の質問の際にも指摘したように，公共工事では，建設業界における人材不足などを背景に，入札の不調や不落が多発しており，今年度に入ってもこの状況は変わっていない。

このような状況で，県立学校の耐震化は予定どおり完了できるのか不安を覚えるが，子供たちの安全確保のため，また小中学校の耐震化に取り組む他の市町に模範を示すためにも，事業の遅延は避けなければならない。

今年度に入っても入札不調が続く中，現時点においても県立学校の耐震化を目標どおり来年度末までに完了できると見込んでいるのか，また計画どおりに事業を進捗させるための対策を講じているのか，改めて知事に伺う。

（答）

県立学校施設の耐震化につきましては，児童生徒の安全を早期に確保するため，対策を加速化させ，平成２７年度末までの耐震化率１００％を目指し，着実に工事が進むよう取り組んでおります。

昨年度の学校耐震化工事におきましては，７件の入札不調がございましたが，今年度は工事の発注に当たって，同一校における工事の一括発注や入札参加資格の所在エリア拡大といった工夫を行うなどにより入札不調は発生しておりません。

その結果，今年度末時点の耐震化率は，当初予定を上回る９８％程度となる見込みでございます。

引き続き，平成２７年度末までの耐震化完了に向けて，全力を挙げて取り組んでまいります。